

審 議 事 項

件名・議案		提案者	別添資料(頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者
1. 委員会関係					
提案1	(幹事会附置委員会) フューチャー・アースの推進に関する委員会 (1)運営要綱の一部改正(新規設置1件) (2)分科会委員の決定(新規1件)	(1)フューチャー・アースの推進に関する委員長 (2)会長	別添1(1～4)	フューチャー・アースの国際的展開対応分科会の設置に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、分科会委員を決定する必要があるため。	会長
提案1-2	(幹事会附置委員会) 学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方を考える検討委員会 (1)運営要綱の一部改正(新規設置1件)	(1)会長	別添1(5～6)	日本学術会議会則第16条第1項の幹事会附置委員会として提案した委員会の設置を決定し、これに伴い、運営要綱の決定を行う必要があるため。	会長
提案2	(機能別委員会) 国際委員会 (1)運営要綱の一部改正(調査審議事項及び設置期間の変更1件)	(1)会長	別添1(7～9)	防災・減災に関する国際研究のための東京会議分科会の調査審議事項の変更に伴い、運営要綱を一部改正する必要があるため。	花木副会長
提案3	(分野別委員会) (1)運営要綱の一部改正(新規設置4件) (2)委員会、分科会及び小委員会委員の決定(【委員会及び分科会】新規10件、追加19件【小委員会】新規6件)	(1)環境学委員会委員長、地球惑星科学委員会委員長、総合工学委員会委員長、機械工学委員会委員長、土木工学・建築学委員会委員長 (2)各部部长	別添1(10～26)	分科会の設置等に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、分野別委員会における委員等を決定する必要があるため。	会長
提案4	(課題別委員会) オープンサイエンスの取組に関する検討委員会 (1)委員の決定(新規1件)	会長	別添1(27)	オープンサイエンスの取組に関する検討委員会における委員を決定する必要があるため。	会長
2. 提言等関係					
提案5	提言「第5期科学技術基本計画のあり方に関する提言」について日本学術会議会則第2条第3号の「提言」として取り扱うこと	学術の観点から科学技術基本計画のあり方を考える委員会	別添2	学術の観点から科学技術基本計画のあり方を考える委員会において、提言を取りまとめたので、関係機関等に対する提言として、これを外部に公表したいため。 ※科学と社会委員会査読	土井美和子委員長、小森田秋夫幹事
3. 国際関係					
提案6	平成28年度共同主催国際会議候補の追加について	会長	別添1(28～29)	平成28年度共同主催国際会議について、国際委員会国際会議主催等検討分科会の審議に基づき、昨年度保留とした会議の中から、以下の2件を追加の候補として決定したい。 ・第19回国際細胞学会議 ・第18回結晶成長国際会議 ※既に候補として決定した7件とともに閣議口頭了解(平成27年6月頃予定)をもって正式決定 ※国際委員会2月26日承認、同国際会議主催等検討分科会2月13日決定	花木副会長

提案7	平成29年度共同主催国際会議候補の決定及び保留について	会長	別添1 (30～32)	共同主催の申請があった平成29年度開催国際会議について、国際委員会国際会議主催等検討分科会の審議に基づき、以下の5件を候補として決定したい。 ・第38回国際地震学・地球内部物理学協会総会 ・第24回国際光学委員会総会 ・第23回世界神経学会議 ・第12回アジア・オセアニア核医学会 ・第18回世界肺癌学会議 また、上記とは別に2件を、今後に決定を保留する会議としたい。 ※国際委員会2月26日決定、同国際会議主催等検討分科会2月13日決定	花木副会長
提案8	平成27年度代表派遣について (1)代表派遣実施計画の決定 (2)実施計画に基づく4－6月期の会議派遣者の決定	会長	別添1 (33～37)	平成27年度代表派遣について、代表派遣実施計画の決定をするとともに、実施計画に基づき4－6月期の会議派遣者を決定する必要があるため。	花木副会長
提案9	ベトナム及びラオスの学術機関等との会合に係る会員の派遣について	国際委員会委員長	—	ベトナム及びラオスの学術機関等との会合のため、以下のとおり会員を派遣することとしたい。ベトナムにおいては、アジア学術会議加盟機関への出席依頼等を、ラオスについては、新規加盟の働きかけを行う。 ・派遣者：吉野 博（第三部会員） ・用務期間：平成27年3月31日（火）～4月4日（土） ・派遣場所：ハノイ（ベトナム）及びビエンチャン（ラオス） ※アジア学術会議は、アジア地域における学術的な協力を目的に、現在、17ヵ国・地域の29の学術機関等により構成され、毎年、加盟各国により持ち回りで開催されている。本年は、第15回会合がカンボジアにおいて開催される。 ※国際委員会2月6日承認、同アジア学術会議分科会2月4日承認	花木副会長

4. 規則等関係

提案10	「提言等の提出チェックシート」の運用について	科学と社会委員会委員長	別添1 (38～42)	提言等の査読を円滑に行うために、全委員会・分科会等に対し、提言等の提出時に、「提言等の提出チェックシート」を提出頂くよう、運用を開始することを決定したため。	井野瀬副会長
提案11	「日本学術会議栄誉会員規程」及び「日本学術会議協力学術研究団体規程」の一部を改正すること	会長	別添1 (43～44)	平成25年日本学術会議規則第1号の施行に伴い、所要の修正を行う必要があるため。	会長

5. 協力学術研究団体関係

提案12	日本学術会議協力学術研究団体を指定すること	会長	別添1 (45～46)	日本学術会議協力学術研究団体への新規申込のあった下記団体について、科学者委員会の意見に基づき、指定することとしたい。 ①特定非営利活動法人環境経営学会 ②関西教育学会 ③体力・栄養・免疫学会 ④日本教育福祉学会 ⑤日本交通学会 ⑥日本ファーマーシューティカルコミュニケーション学会 ⑦日本腐植物質学会 ⑧日本プラント・ヒューマンファクター学会 ※平成27年2月27日現在1,973団体（上記申請団体を含む。）	向井副会長
------	-----------------------	----	----------------	---	-------

6. シンポジウム等

提案13	公開シンポジウム「大学とグローバル化—いま人文社会系大学の国際化のために求められていること—」	第一部長	別添1 (47～48)	主催：日本学術会議第一部国際協力分科会、成城大学、IFSSO（国際社会科学団体連盟、International Federation of Social Science Organizations） 日時：平成27年5月31日（日）13:00～15:15 場所：成城大学3号館講堂 ※第一部承認	—
------	---	------	----------------	--	---

7. 後援

提案14	国際会議の後援をすること	会長	—	以下の国際会議について、後援の申請があり、国際委員会において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたため。 ①2016年国際ゴム技術会議 主催：一般社団法人日本ゴム協会 日時：平成28年10月24日（月）～28日（金） 場所：北九州国際会議場、西日本総合展示場（福岡県） 参加予定者数：国外120人、国内330人、計450人 参加予定国数：27ヵ国 申請者：一般社団法人日本ゴム協会会長 五十野 善信 ②国際色彩学会中間大会AIC2015 TOKYO 主催：国際色彩学会、日本色彩学会 日時：平成27年5月19日（火）～22日（金） 場所：ソラシティカンファレンスセンター（東京都） 参加予定人数：国外170人、国内190人、計360人 予定参加国数：51ヵ国 申請者：日本色彩学会会長 淵田 隆義	会長
------	--------------	----	---	--	----

提案15	国内会議の後援をすること	会長	以下の会議について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたため。 ①構造工学フロンティア国際会議 (SEFC2015)－耐震工学は既に成熟した科学なのか？－ 主催：東京工業大学建築物理研究センター 期間：平成27年3月18日（水）～19日（木） 場所：東京工業大学すずかけ台キャンパス大学会館多目的ホール 申請者：構造工学フロンティア国際会議 (SEFC2015)運営委員会委員長、東京工業大学建築物理研究センター教授 笠井 和彦 参加予定者数：約250名 審議付託先：第三部 ②日本物理学会第70回年次大会（2015年）物理と社会シンポジウム「異分野から見た物理学への期待：『物理学』領域の参照基準」 主催：一般社団法人日本物理学会 期間：平成27年3月21日（土） 場所：早稲田大学早稲田キャンパス 申請者：一般社団法人日本物理学会会長 兵頭 俊夫 参加予定者数：約300名 審議付託先：第三部 ③日本哲学会第74回哲学教育ワークショップ 主催：日本哲学会 期間：平成27年5月15日（金） 場所：上智大学四谷キャンパス 申請者：日本哲学会会長 飯田 隆 参加予定者数：約120名 審議付託先：第一部 ④第4回JACI/GSCシンポジウム 第7回GSC東京国際会議 主催：公益社団法人新化学技術推進協会 期間：平成27年7月5日（日）～8日（水） 場所：一橋大学一橋講堂 申請者：公益社団法人新化学技術推進協会会長 高橋 恭平 参加予定者数：約800名 審議付託先：第三部 ⑤日本宗教学会第74回学術大会パネルディスカッション「<考える「倫理」>の授業における宗教学の役割－市民性社会との関係－」 主催：日本宗教学会 期間：平成27年9月5日（土） 場所：創価大学 申請者：日本宗教学会会長 氣多 雅子 参加予定者数：約120名 審議付託先：第一部 ⑥第66回日本倫理学会大会共通課題「倫理教育の未来に向けて」 主催：日本倫理学会 期間：平成27年10月4日（日） 場所：熊本大学 申請者：日本倫理学会会長 竹内 整一 参加予定者数：約120名 審議付託先：第一部	会長
-------------	---------------------	-----------	--	-----------

8. その他

提案16	「地すべり災害リスクの理解と軽減を地球規模で推進するための国際防災戦略（ISDR）-国際斜面災害研究機構（ICL）仙台パートナーシップ2015-2025」に賛同すること	会長	別添1 (49～54)	第3回国連防災世界会議に関連して、日本学術会議が「地すべり災害リスクの理解と軽減を地球規模で推進するための国際防災戦略（ISDR）-国際斜面災害研究機構（ICL）仙台パートナーシップ2015-2025」に賛同することとしたため。 ※第三部承認	会長
------	--	----	----------------	--	----